



## 平成25年度「エネルギー使用合理化等事業者支援補助金」採択

規模：地上10階建 地下1階建  
 総延床面積：11,304㎡  
 導入設備：空冷ヒートポンプ式熱源機「ユニバーサルスマートX」(空調設備)×10台(東芝製)

## 背景

長野オリンピック前年の1997年に竣工した大型商業施設。企業のオフィスや飲食店、各種商業施設、郵便局などの多様なテナントが入居し、利用者も多いことから立体駐車場や地下駐車場も完備。そのため周囲のビルに比べて電力の消費量が膨大でした。

## 課題

- 1 施設内にテナントが多く、膨大なエネルギーコストがかかる。
- 2 空調熱源設備の省エネ性能が低く、運転効率が悪い。
- 3 無人の場所の照明や空調を停止させたい。

## 削減手法

- Step 1 人的努力**
- 無人の場所の消灯
  - 無人の場所の空調停止
  - エネルギー使用状況の「見える化」
- Step 2 機器の高効率化**
- 照明のLED化
  - ユニバーサルスマートXの導入

## 空調・熱源設備を一新し、ランニングコストを大幅に削減すると共に省エネを実現。常に快適な空間をテナントへ提供。

## 実施内容

## 空調設備

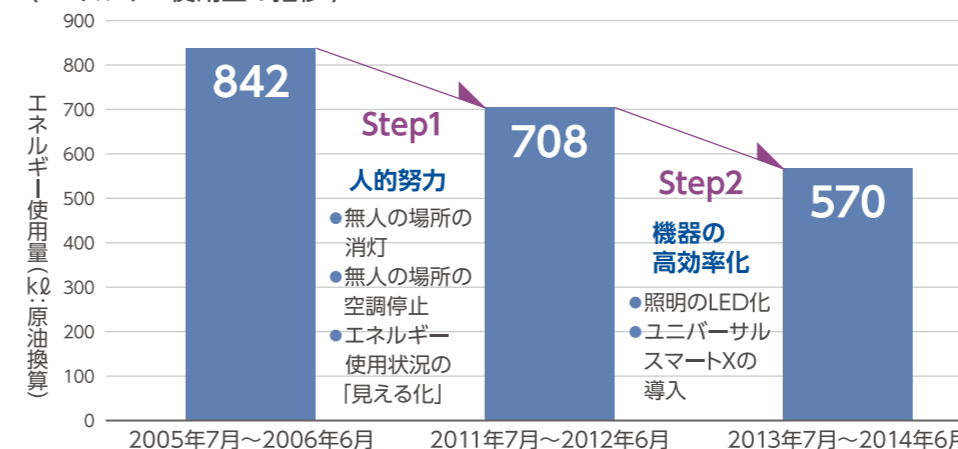
空調・熱源設備を「ユニバーサルスマートX」に更新。狭いスペースに対応できるほか、一部だけ運転することもできるため、空調全体を止めずにメンテナンス可能。



屋上に設置された「ユニバーサルスマートX」の室外機

## 効果

## 〈エネルギー使用量の推移〉



1 2013年エネルギー使用量約**570kL**、2006年比で**32%削減**。

2 補助金対象設備の削減率は、**78.8kL (削減率38.8%)**。